

2025年1月31日

各位

株式会社三井住友銀行

アールビバン株式会社に「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、アールビバン株式会社（代表取締役会長兼社長：野澤 克巳）に「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施いたしました。

「SMBC 社会課題解決推進支援融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業の社会課題解決に向けた取り組み状況を確認した上で、①組織の社会課題への取り組み姿勢等に対する所見と、②ロジックモデル（事業活動を通じた社会課題への道筋を見える化したもの）の仮説を提示し、今後の取り組み推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、アールビバン株式会社については、以下に記す事業を通じた社会課題解決について、取組推進に向けたアドバイス等を提供しました。

① 人々の心を豊かにする絵画の普及・販売

事業内容	一般消費者がアートを手にとりやすくするため、絵画より価格を抑えやすい版画を販売し、新たなアート市場を開拓されています。さらに、アート作品の購入層をさらに広げるため、金融子会社により、購入資金のファイナンスを提供しておられます。
当該事業を通じて解決を目指す社会課題の概要	WHO（世界保健機関）の推定では、世界の労働可能年齢人口の15%が精神疾患を経験したことがあると言われています。厚生労働省の調査によると、国内でも13.3%の事業所で、メンタルヘルス不調により1か月以上休業・退職した労働者がいました（2022年）。また、精神疾患による従業員の休業で企業が受ける損害は、年間1兆円に上ると推計されています。
社会課題解決への貢献内容	一般の人々がアート作品に触れる機会を増やし、絵画を通じた心豊かな生活文化の普及に寄与しておられます。また、ファイナンスサービスの提供を通じて、より幅広い層がアート作品を購入できる環境を整備されています。絵画のある生活により心安らぐ時間が増えれば、ストレスや精神的な不調等を抱える人を減らすことにつながる可能性があります。

② 障がい者アートの普及・販売を通じた障がい者のインクルージョン促進

事業内容	自閉症や知的障がいを持たれている方と、提携するデザイナー会社と共創してアート作品を制作し、貴社の催事の中で販売することを計画しておられます。
------	--

<p>当該事業を通じて 解決を目指す 社会課題の概要</p>	<p>2012年から2022年の10年間で、障がい手帳所持者数は50万人以上増加しています。障がい者の社会参加は自立に必要な要素です。企業は障がい者雇用を進めていますが、法定雇用率（2.7%）を達成している企業の割合は50%を下回っています。また、障がい者個人の能力を活かせる場が提供されていないなど、「自立」に繋がっていないケースもあります。</p>
<p>社会課題解決 への貢献内容</p>	<p>障がい者アートの認知度を高めることで、障がい者の働き方に対する人々の理解が深まり、障がい者への偏見を減らすことにつながります。また、障がい者がアーティストとして収入を得ることで、仕事の選択肢の幅が広がれば、障がい者の自立促進に寄与します。さらに、障がい者が提携会社のデザイナーや従業員とコミュニケーションを取ったり、作品制作の関係で外出する等、社会との接点が増えることで、障がい者の社会的受容感が高まることにもつながると考えます。</p>

株式会社三井住友銀行では、「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を通じて、お客さまの幅広い社会課題解決に向けた取組を支援することで、お客さまとともに社会的価値創造の好循環を生み出す取組を推進してまいります。

以 上